

## 2011年度 空間計画設計演習第2

担当 中井検裕、十代田朗、坂野達郎、津々見崇、中西正彦、朴堯星

### 講義の目的・内容

都市計画／まちづくりを展開させる上での問題意識とその結果に触れ、地域を観察する目を養うとともに、関係者とのディスカッションや、資料収集、現地調査を経て、計画づくりの基礎的作業を学習することをねらいとする。

### スケジュール（毎週木曜日 5,6 限）

|      |         |                                          |
|------|---------|------------------------------------------|
| 第1回  | 10月 6日  | ガイダンス                                    |
| 第2回  | 13日     | 地域の問題構造発見1（川崎市武蔵小杉）：講義                   |
| 第3回  | 20日     | 現地見学                                     |
|      | 27日     | （月曜授業のため無し）                              |
| 第4回  | 11月 10日 | 発表                                       |
| 第5回  | 17日     | 地域の問題構造発見2（台東区谷中）：講義                     |
| 第6回  | 24日     | 現地見学                                     |
| 第7回  | 12月 1日  | 発表                                       |
| 第8回  | 8日      | 後半課題：地域の魅力アップ提案演習の課題説明<br>および問題の構造化手法の講義 |
| 第9回  | 15日     | 対象地の状況説明および作業                            |
| 第10回 | 22日     | 作業日（まち歩き、現地調査）                           |
| 第11回 | 1月 5日   | 作業日（問題と課題発見、KJ法等）                        |
| 第12回 | 12日     | 中間報告（対象地の問題と魅力について）                      |
| 第13回 | 19日     | 作業日（成果物作成等）                              |
| 第14回 | 26日     | 作業日（成果物作成、エスキースチェック（助教が対応））              |
| 第15回 | 2月 2日   | 最終発表、講評会                                 |

### 講師

- \* 1 沖山浩二氏（川崎市まちづくり局）
- \* 2 西河哲也氏（特定非営利法人たいとうCDC理事長）

1. 地域の問題を発見する（～第7回） 課題とされた地域を対象に、関係者から地域の現状についての講義を受講した後、現地見学を行い、問題を発見して発表する。対象地域は性格の異なる2地域であり、各地域について講義、現地見学、発表を行う（2地域目では問題の構造化演習も行う）。学生にはパワーポイントを用いたプレゼンテーションが義務付けられる。
2. 地域の文脈を読み込み、魅力を発展させる提案作り（第8～14回） 課題とされた地域を対象に、計画づくりに必要な資料収集や調査を行う。その成果に基づき、学生は図面、パネル、模型などを用いた地域の魅力を向上させるための計画提案を作成し、発表する。